

令和4年度

第1回秋田県農山村ふるさと保全検討委員会

【資料1】

中山間ふるさと・水と土保全対策事業等に関すること

中山間ふるさと・水と土保全対策事業等に関すること

1. 秋田県中山間地域土地改良施設等保全基金の概要とその運用について

この基金は、中山間地域において農地や土地改良施設の有する多面的機能の良好な発揮と地域住民活動の活性化を図るため、農地の利活用及び保全整備等の促進に対する活動支援や、地域住民活動を推進する人材育成等を図るため造成した基金であり、平成5年～平成12年にかけて10億6千万円を積み立てした。

当課は、この基金の運用益の範囲内で事業を実施してきたが、低金利により、運用益だけで事業費を確保することが困難となり、平成16年度から国指導のもと基金元本を切り崩して事業費に充てている。

＜令和3年度運用益 492千円（過去最高の運用益(H24) 5,898千円）＞

(1) 基金残高等について

(円)

	前年度(R2)残高 A	運用益(R3) B	R3事業費 C	取崩額 D=B-C	R3年度末残高 E=A+D
ふる水基金	526,036,302	293,758	11,342,414	-11,048,656	514,987,646
棚田基金	354,786,077	198,125	5,752,619	-5,554,494	349,231,583
合計	880,822,379	491,883	17,095,033	-16,603,150	864,219,229

(2) 基金を活用した事業一覧 (R3実績)

事業名	R3実績 (うち基金)	事業目的
魅力ある秋田の里づくり総合支援事業 【事業年度：R1～R4】	13,736,106 (8,661,716) ※1	地域の食や伝統文化、里地里山や水辺環境などの地域特性を生かした都市との交流活動や、伝統野菜などの地域農産物の生産及び加工・販売までの6次産業化など、地域住民が主体となった取組を支援することで、農地の維持及び中山間地域の活性化を図る。
秋田の里地里山を守り継ぐプロジェクト事業 【事業年度：H28～R3】	6,625,619 (5,752,619) ※2	多面的な機能を有する里地里山を県民共有の財産として後世に引き継いで行くため、「守りたい秋田の里地里山50」の認定地域が、県内外の企業や大学等と協働で行う里地里山の保全活動等に対し総合的に支援する。
Cool Akiita 農泊推進事業 【事業年度：H29～R3】	5,679,550 (2,586,950) ※1	グリーン・ツーリズムの拠点地域の育成や、地域の魅力の再発見・情報発信などを通じて、県内のグリーン・ツーリズムを総合的に推進する。
元気な中山間農業応援事業 (中山間地域資源活用プラン策定) 【事業年度：H26～R3】	185,285,265 (93,748) ※1	平地に比べ営農条件が不利な中山間地域を対象に、経営規模は小さくても一定の所得が確保できるよう、地域が主体となった計画づくりとその実現に必要な取組を支援する。
計	211,326,540 (17,095,033)	

上記の※1は「ふる水基金」、※2は「棚田基金」を示す。

(3) 基金を活用した事業一覧 (R4計画)

※令和4年度より「あきたの農山村を支える活力創造事業」に再編し、一部の事業として実施

事業名	R4予算 (うち基金)	事業目的
魅力ある里づくりモデル事業 【事業年度：R1～R5】 (旧魅力ある秋田の里づくり総合支援事業)	8,000,000 (6,000,000) ※1	伝統野菜、里地里山や水辺環境などの地域資源を生かした「魅力ある里づくり」のモデル地域を育成するため、計画策定から拠点整備、実践活動までを総合的に支援することで、中山間地域の活性化を図る。
地域づくり活動支援事業 【事業年度：R4～R7】 (旧魅力ある秋田の里づくり総合支援事業)	3,000,000 (3,000,000) ※1	企業のCSR活動等と連携した農地等保全活動、地域の食や伝統文化などの地域特性を生かした都市との交流活動等を支援することで、中山間地域の農地の保全・活用を図る。
里地里山保全活動支援事業 【事業年度：R4～R7】 (旧秋田の里地里山を守り継ぐプロジェクト事業)	7,297,000 (6,697,000) ※2	多面的な機能を有する里地里山を県民共有の財産として後世に引き継いで行くため、「守りたい秋田の里地里山50」の認定地域が、県内外の企業や大学等と協働で行う里地里山の保全活動等に対し総合的に支援する。
いいね! Akita 農泊推進事業 【事業年度：R4～R7】 (旧Cool Akita 農泊推進事業)	4,880,000 (1,280,000) ※1	農泊地域の連携強化及び情報共有を図るほか、各種研修会等の実施による受入体制の整備や情報発信等の取組を通じて、県内の農泊の受入体制を強化する。
里づくり推進事業 【事業年度：R4～R7】 (旧魅力ある秋田の里づくり総合支援事業)	3,263,000 (3,263,000)	事業に関する啓発普及など事業推進に必要な取組を行う。
計	26,440,000 (20,240,000)	

上記の※1は「ふる水基金」、※2は「棚田基金」を示す。

2. 魅力ある秋田の里づくり総合支援事業の実施状況について

<事業目的>

地域の食や伝統文化、里地里山や水辺環境などの地域特性を生かした都市との交流活動や、伝統野菜などの地域農産物の生産及び加工・販売までの6次産業化など、地域住民が主体となった取組を支援することで、農地の維持及び中山間地域の活性化を図る。

(1) 魅力ある里づくりモデル事業

中山間地ならではの地域資源を生かした「魅力ある里づくり」のモデル地域を育成するため、計画策定から拠点整備、実践活動までを総合的に支援する。

<令和3年度の実施内容> 事業費 10,809,017円

6地域（R2からの継続4地域、R3新規採択2地域）において、拠点となる施設の整備や各種交流活動、伝統文化の継承活動などの取組を実施した。

- ・計画策定事業 300千円×1地域、120千円×1地域
- ・拠点整備事業 1,000千円×4地域、600千円×1地域
- ・活動支援事業 1,000千円×5地域、500千円×1地域



大学生の田植体験



空き家を改修した宿泊施設



体験プログラムの実践

(2) 活力ある農山村チャレンジ事業

中山間地域等の農地等が有する多面的機能の重要性の啓発を図るとともに、ふるさと水と土指導員等の地域活動を担う人材の育成や地域資源を生かした交流活動を支援する。

<令和3年度の実施内容> 事業費 2,927,089円

① ふるさと秋田応援事業

交流活動や体験教育活動等を通して地域の活性化を図る取組を行う団体を募集し、支援する。
令和3年度までに37団体を支援。



ハタハタ寿司作り体験



ニホンムラサキの収穫
(鹿角紫根染)



雪中キャベツの収穫体験

② 地域活性化人材育成・活用事業

- ・令和3年度ふるさと水と土基金県内研修会

毎年、基調講演やふるさと水と土指導員による活動発表を行い、魅力ある里づくりモデル事業等の実践団体、ふるさと水と土指導員、地域おこし協力隊員等が参加し、活動の更なるステップアップを図っているが、令和3年度は新型コロナの影響により中止

③ 多面的機能普及・啓発事業

- ・県内の小学5年生に対して多面的機能の学習パンフレットを配布（7,600部）
- ・秋田県ふるさと保全検討委員会の開催

④ 農福連携就労促進事業

- ・福祉事業所向け農業現地研修会の実施（県内3カ所）

魅力ある里づくりモデル事業

	大仙市大沢郷宿地域(R1採択) (実施団体：大沢郷三地区結々会)	湯沢市秋ノ宮地域(R1採択) (実施：(一社)地域カワークスやまもり)	藤里町粕毛地域(R2採択) (実施：ふじさと粕毛まちづくり協議会)	秋田市河辺地域(R2採択) (実施：河辺地域交流会「縁 ゆかり」)
里づくり テーマ	○空き店舗を交流拠点として整備し、湧水や伝統文化、祭り等の魅力ある地域資源を有効活用した交流活動の実施により地域コミュニティの再形成と交流人口の拡大を図る。	○空き家を活用した交流拠点を整備し、耕作放棄地や農山村資源、温泉地熱などの地域資源を組み合わせた活動で滞在型農山漁村地域の受入交流拠点地域を創出する。	○空き家及び遊休農地を利用した貸し田舎の提供や企業の研修の受入、食・体験メニューの提供により、交流人口の拡大を図る。	○国際教養大学の学生と連携した各種体験活動、空き家を活用した体験参加者や企業の研修の受入、地域資源を活用した加工商品の開発による展開を地域活性化につなげる。
1 5 1	 <p>雄清水を活用した 水車整備</p>	 <p>交流拠点の整備 (古民家改修)</p>	 <p>受入拠点の整備 (空き家リノベーション)</p>	 <p>受入拠点の整備 (古民家再生)</p>
	<p>番楽の継承事業</p> 	<p>各種里山体験プログラム</p> 	<p>各種体験交流プログラム</p> 	<p>加工品の開発</p> 
地域資源	湧水(雄清水、雌清水、日本酒) 番楽(椒沢番楽) 祭り(亀田街道まつり) 食(レンコン、わさび など)	温泉(秋ノ宮、小安峡、泥湯温泉) 景観(小安峡、川原の湯、神室山) 食(さくらんぼ、せり、山ぶどう、稲庭うどん、マタギ料理 etc)	登山・自然散策(小岳、自然観察教育林) 景観(横倉の棚田) 食(ワサビ、クレソン栽培、イワナの養殖)	古民家 食(古代米、沼山大根、山菜、こはぜ、柿、山女魚の養殖)
主な取組	①雄清水を活用した水車整備 ②体験農園事業 ③椒沢番楽継承 など	①古民家改修(里山拠点整備) ②地域特産物を生かした加工品作り ③魅力ある里地里山モニターツアーの実施(サイクリングツアー) など	①空き家リフォーム ②体験交流活動(キノコ、山菜等) ③貸し田舎暮らしの提供(農地とリフォームした空き家をセットで貸出) など	①古民家の再生(受入拠点の整備) ②地域特産物を生かした加工品作り ③英語交流会、農業体験などの各種交流活動 など
構想 (目標)	①雄清水の利用者 36千人(H30)→50千人(R4) ②農泊等、農業体験の受入人数 30人(H30)→100人(R4) ③椒沢番楽の新規参加者 0人(H30)→4人(R4) ④農産物の販売額(直売所売上) 300千円(H30)→1,200千円(R4)	①体験交流プログラム参加者数 107人(H30)→300人(R4) ②体験交流プログラム体験料収入 410千円(H30)→1,500千円(R4) ③交流人口の目標 5,000人(R4)	①農家民宿宿泊者 291人(R1)→380人(R4) インバウンド18人→60人 ②体験交流プログラム受入 151人(R1)→200人(R4) ③里づくり交流人口 786人(R1)→1,500人(R4) ④農泊事業売上 3,055千円(R1)→4,000千円(R4)	①地域特産物加工品売上 1,000,000円(R5) ②各種体験イベント受入 200人(R5) ③農泊受入 50人(R5) ④企業版田んぼオーナー制度 2社契約(R5)

魅力ある里づくりモデル事業

大仙市豊岡地域(R3採択) (実施：豊岡魅力の里づくり協議会)

潟上市飯田川和田妹川地域(R3採択) (実施：たそがれ野育園運営協議会)

里づくり
テーマ

○千年を超える歴史遺産や清流、虫といった環境資源などの地域の魅力の一体的なPRとそれらを生かした交流・関係人口の創出により、地域の活性化を図る。

○農的学びのプログラムの提供など、農山村を舞台としたリアルな学び場となるプラットフォームを作り、多様な角度から交流機会、関係人口の創出を図る。



歴史遺産
(小沼神社)



学びと交流の拠点
(リノベーション)

虫の環境整備



一次産業連携と
商品開発



地域資源

歴史遺産(小沼神社、十六沢城址)
自然(棚田、水辺環境、虫)
食(棚田米、杜仲 など)

自然、食(田畑、森林、山菜、野草、
沼山大根、てんこ小豆
など)
技術資源(有機栽培、琴川のすげ傘、
コンポスト技術 など)

主な取組

- ①虫の環境整備
- ②歴史・自然環境体験の受入
- ③地場産農産物PR活動 など

- ①民家リノベーション(学びと交流の
拠点づくり)
- ②農体験ワークショップ
- ③加工品開発 など

構想
(目標)

- ①地域外交流人口の拡大
歴史・自然環境体験の受入
80人(R3) → 200人(R5)
- ②地場製品のブランド差別化
杜仲などの「豊岡」の名称
- ③農産物の販売額
200千円(R3) → 1,500千円(R5)

- ①交流人口の拡大
100人 → 200人(R5)
- ②農体験収入の増
1,000千円 → 2,500千円(R5)
- ③加工品販売額の増
200千円 → 500千円(R5)
- ④学生参加者の増
20人 → 100人(R5)

魅力ある里づくりモデル事業の流れ

事業期間 4年

他地域波及

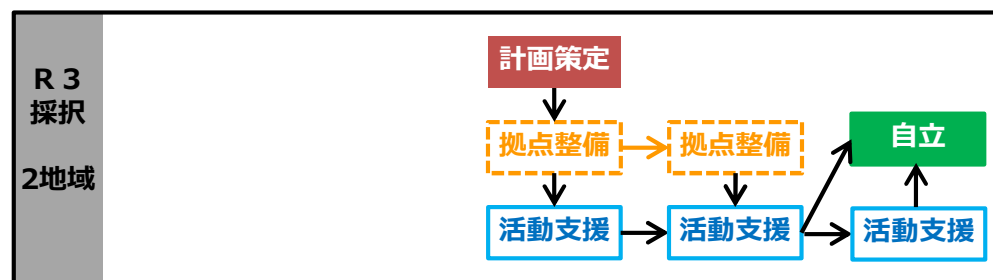
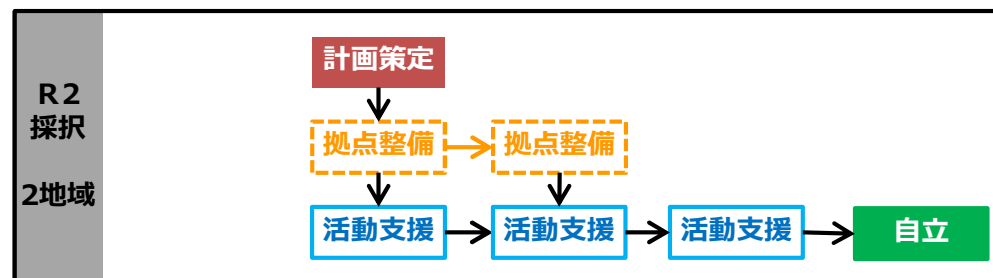
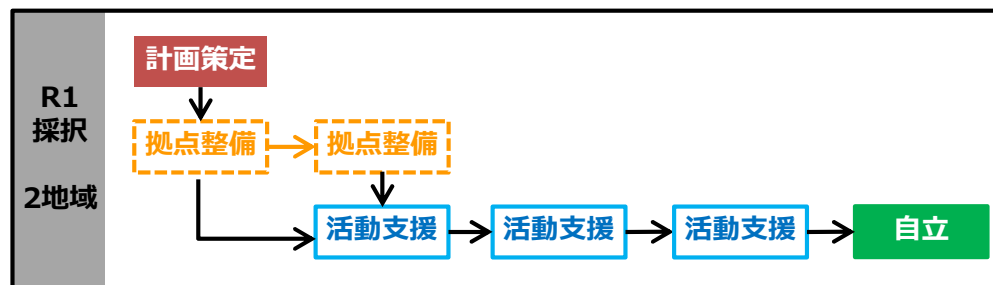
R1

R2

R3

R4

R5以降



計画策定

…支援上限額：30万円(定額) ※初年度のみの実施

拠点整備

…支援上限額：総額200万円(定額)

活動支援

…支援上限額：総額300万円(定額)

【R3年度の事業実績】ふるさと秋田応援事業

令和3年度は5団体を支援。

継続団体（3団体）

市町村	団体名	委託料	取組目的	取組内容
鹿角市	(継続) (一社)鹿角紫根染・茜染研究会	100千円	日本ムラサキの栽培や紫根染の体験教育活動を行い、鹿角の伝統文化「古代鹿角紫根染」の復活と伝承を目指す。	5月～11月 日本ムラサキの栽培 2月 古代技法による紫根染体験 柴平小学校の児童を対象に実施 [参加者 35名]
北秋田市	(継続) (有)あけぼの農園	100千円	花摘み体験や摘んだ花を用いた作品作りの活動を通じて交流人口の拡大を図る。	5月～10月 花の移植、花の摘み取り、作品作り体験等 障害支援センターささえと実施 [参加者 14名]
大仙市	(継続) 首都圏「ふるさと太田会」を応援する会	100千円	首都圏「ふるさと太田会」と連携し、農産物の販売や収穫体験会を行い、太田の魅力を広く発信し、関係人口の拡大を図る。	12月 ふるさとの地酒体験会 1月 ふるさとの味覚体験交流会 (太田産イチゴ) コロナの影響により内容を変更 収穫したものを首都圏に送り、レシピや感想を返信、ふるさと便りの発行

新規団体（2団体）

市町村	団体名	委託料	取組目的	取組内容
五城目町	(新規) ちよだ五城目交流館	110千円	農作業体験・調理体験等の体験交流活動を実施し、五城目町の関係人口の増加と活性化を図る。	1月 雪の下キャベツの収穫 [参加者 21名] 2月 大豆の選別作業体験 [" 8名] だまこ鍋の調理体験 [" 9名] 3月 だまこ鍋の調理体験 [" 10名] もちつき調理体験 [" 11名] 体験とセットで朝市見学と温泉案内
男鹿市	(新規) 子育てカフェ・にこりーぷ	300千円	休耕地を活用し、稲作や畑作体験を交流活動、体験教育活動として実施することで、交流人口の増加と休耕地の有効活用を図る。	1月 ハタハタ寿司づくり体験 [参加者 21名] 2月 大根漬物づくり、麴づくり わら細工づくり体験 [" 18名] 3月 味噌づくり、納豆づくり [" 6名] 自然農の勉強会 [" 8名]

3. 秋田の里地里山を守り継ぐプロジェクト事業の実施状況について

(1) 「守りたい秋田の里地里山50」推進事業

県が取り組んでいる「守りたい秋田の里地里山50」地域の募集や認定された地域をはじめとする里地里山の保全・継承に向け、その役割や魅力を広くPRするプロモーション活動やパンフレット作成等を実施する。

＜令和3年度実績＞	
○事業費	2,625千円
○「守りたい秋田の里地里山50」認定地域数	1地域（累計 52地域）
○プロモーション活動	
①秋田県種苗交換会にて	
日時：令和3年10月29日(金)～11月4日(木)	
場所：能代市（種苗交換会会場）	
内容：里地里山の役割や魅力のPR活動 （各種ポスター等の掲示、パンフレット等の配布、アンケートの実施）	
②ブラウブリッツ秋田ホーム会場にて	
日時：令和3年11月21日(日)	
場所：秋田市（八橋運動公園内）	
内容：里地里山の役割や魅力のPR活動 （各種ポスター等の掲示、パンフレット等の配布、物産販売）	
○フォトコンテスト	
内容：秋田県土地改良事業団体連合会と連携した「第22回あきたの美しく豊かな農村づくり写真コンクール」を開催	
○認定地域の魅力発信事業	
内容：情報発信推進員による取材内容を県ホームページ等で発信	



令和3年度「守りたい秋田の里地里山50」
認定地域 草木谷地域（潟上市）



令和3年度ブラウブリッツ秋田ホーム会場
プロモーション活動状況（秋田市八橋運動公園内）



写真コンクール
「守りたい秋田の里地里山50」部門
最優秀賞
阿仁戸島内地域（北秋田市）

(2) 里地里山のサポート活動支援事業

認定地域において、県内外の企業や大学等を対象に里地里山サポーターを募集し、地域とサポーターが協働で行う保全・交流活動等に対して支援する。

(補助率：定額 上限額：500千円、支援年度：2カ年まで)

<令和3年度実績> 事業費 3,824千円

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
地域名	小割沢地域(鹿角市)	大地地域(小坂町)	大里地域(鹿角市)	大里地域(鹿角市)	前山地域(北秋田市)
	阿仁戸島内地域(北秋田市)	阿仁戸島内地域(北秋田市)	黒土地域(五城目町)	黒土地域(五城目町)	檜山地域(能代市)
	横倉地域(藤里町)	横倉地域(藤里町)	横岡地域(にかほ市)	横岡地域(にかほ市)	綱木沢地域(井川町)
	安全寺地域(男鹿市)	安全寺地域(男鹿市)	小沼地域(大仙市)	小沼地域(大仙市)	中村地域(五城目町)
			三又地域(横手市)	三又地域(横手市)	東由利宿地域(由利本荘市)
		土沢地域(湯沢市)	前山地域(北秋田市)	檜沢地域(大仙市)	
			檜山地域(能代市)	上羽立地域(北秋田市)	
			綱木沢地域(井川町)	萱ヶ沢地域(秋田市)	
			中村地域(五城目町)		
			東由利宿地域(由利本荘市)		
			檜沢地域(大仙市)		
			白岩地域(仙北市)		
計	4地域(新規4地域)	4地域(新規1地域)	6地域(新規6地域)	12地域(新規7地域)	8地域(新規2地域)
累計	4地域	5地域	11地域	18地域	20地域
目標数	4地域	8地域	12地域	14地域	16地域

※活動サポート支援に係る事業は平成29年度より開始している。(支援対象期間は2年度までとし支援額は50万円/年度/地域。)

(3) 里地里山の営農継承事業

認定地域において、耕作放棄を防止し、里地里山の保全・継承を支援するため、新たな農地の借受者に対し、借受のインセンティブとなるよう、賃借料相当の助成金を交付する。

ア 助成対象 農地中間管理機構等から新たに農地を借り受ける農業者

イ 補助率 実賃料額(借受初年目は10千円/10aを上限、2～3年目：初年度交付単価の半額)

<令和3年度実績> 事業費 123千円

地域名	面積	助成金額
小沼地域(大仙市)	継続 29a	13千円
岩井川地域(東成瀬村)	新規 188a、継続98a	105千円
手倉地域(東成瀬村)	継続 37a	5千円
計	新規 188a、継続164a	123千円

(4) 棚田地域振興法推進事業

令和元年6月に公布された棚田地域振興法で定める「指定棚田地域」の指定による棚田地域の振興を図るため、関係市町村等と連携した推進活動を行う。

<令和3年度実績> 事業費 53千円

- 令和3年9月7日に指定棚田地域である藤里町「横倉の棚田」の指定棚田地域振興活動計画が認定。
- さらには、同棚田が令和4年2月14日に「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」に認定。

【別紙】～里地里山のサポート活動支援事業 令和3年度各地域の活動～

○北秋田市「前山地域」(令和2～3年度)

県内では珍しい複数の雑穀を栽培し、県内の大学生や地域外の住民と収穫活動等を行っている。地域内外問わず、親子を対象にした交流会ではあゆのつかみ取りや雑穀米の試食を行い、毎年多くの方が参加し賑わいを見せている。

(R3はブラヴブリッツ秋田元選手の前山さんが交流会に参加)



○能代市「檜山地域」(令和2～3年度)

地域の農業や食を通じた活動として、本地域の伝統食である「檜山納豆」の原料(大豆)の生産から収穫、納豆づくりまでを一貫して地元の小学生に体験してもらう活動を実施している。



○井川町「綱木沢地域」(令和2～3年度)

本地域では夏カボチャ等の野菜やブルーベリー等の栽培をされており、地元園児によるブルーベリー収穫体験を実施し地域交流を図るほか、野菜やジャムの販売も行っている。



○五城目町「中村地域」(令和2～3年度)

地域内外の人との交流を通じて地域の活性化を図ることを目的に、毎年冬に行うイルミネーション活動を秋田県立美術大学の学生と協働で実施している。



○由利本荘市「東由利宿地域」(令和2～3年度)

地域が大切にしている伝統行事「石沢川の鯉のぼり」の保全活動を実施している。鯉のぼりの一部は、地元園児が絵付けしており、桜並木と調和した色とりどりの景色は、来訪者を魅了している。



○大仙市「椒沢地域」(令和2～3年度)

大曲高校生等の地域外サポーターと地域に生息している「蛍」の保全(カワナ放流)と集落内での「水仙」の植栽活動を行っている。また、保育園児を対象に「しいたけ」の収穫体験も行うなど地域住民との交流を図っている。



○北秋田市「上羽立地域」(令和3年度)

昔ながらの自然、里地里山の素晴らしい環境や守ることの大切さを伝えるため、地域内外から参加者を募り、地元番楽の披露、ほたるの鑑賞会、音楽ライブなど積極的な交流活動を実施している。



○秋田市「萱ヶ沢地域」(令和3年度)

地域資源である蛍の生息環境を保持し、関係人口を拡大するため、秋田公立美術大学の学生と協力し、蛍観賞地の看板とマップを作成したほか、地元番楽を通して交流活動を実施している。



4. 農泊推進事業の実施状況について

(1) Cool Akita 農泊推進事業事業 (H29~R3)

東京 2020 オリンピック・パラリンピックを迎えインバウンドを含めた観光需要が拡大することを想定し、農山村での交流人口の増加に向けた取組を実施。

1) 拠点地域の育成・魅力再発見事業

① グリーン・ツーリズム拠点地域育成事業 (H29~R1 大館市、R2~R3 藤里町)

モデル地域として、令和 2 年度に藤里町を選定し、外国人を含めた多様な旅行者に対応した受入環境整備及び地域資源を活かした体験メニューの開発を支援

<令和 3 年度実績：藤里町> 【事業費 900,000 円】

○リモートでの農泊勉強会、Wi-Fi 端末機の使い方・SNS 研修会の開催

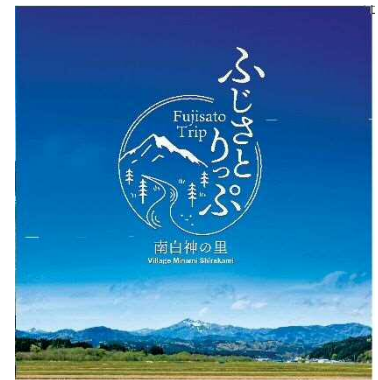
○甚兵衛・浴衣等和装体験等の新たなコンテンツづくり、PR パンフ作成



『農泊勉強会』



『Wi-Fi・SNS 研修会』



『PR パンフ』

② 農村での交流拡大ブラッシュアップ事業

料理専門家による農家民宿や農家レストランが提供する地域食材を生かしたメニュー創出と講習会の開催。

<令和 3 年度実績> 【事業費 745,000 円】

○講習会の開催 (県北・中央計 2 回)



『料理講習会 (県北会場)』

(2) 地域の魅力発信力強化事業

① 農村誘客キャンペーンの実施

農家民宿等の認知度向上と、農山村での体験の魅力を伝えファンを増加を図る。

<令和 3 年度実績> 【事業費 835,000 円】

○オンライン体験ツアー研修会を開催し、実際にツアーを実施。(2 団体各 2 回)



『オンライン体験ツアー』

5. 元気な中山間農業応援事業について（R3終了事業）

【事業成果】

（1）中山間地域資源活用プラン策定事業

[成果]

①地域資源活用推進協議会の設置

- ・市町村が中心となり、JAや生産者の代表等を交えた組織を育成（57組織）

②地域プランナーの配置

- ・JA営農センター職員（大仙市、仙北市）
- ・元JA職員（八峰町、東成瀬村）
- ・（品目によって）地域の農業法人の代表（大仙市、仙北市）
- ・市の法人化専門指導員（大仙市）
- ・グリーンツーリズム施設整備アドバイザー（ワイン醸造関係）（小坂町）
- ・議員（八峰町）

③先進事例等調査

- ・県内他地域の取組事例調査（生産体制、6次化）
- ・コギク、リンドウの栽培状況調査（岩手県平泉市、花巻市）

④地域資源活用プランの策定

- ・事業実施期間中（H26～R3：8年間）に57地域でプランを策定

[特徴的なプラン]

- 小坂町七滝地域 グリーンツーリズムの受入拠点地域として地域活性化を推進
(町体験農園、菜種搾油施設、道の駅、食肉加工施設)
- 八峰町八森地域 「真瀬」ブランドの販売促進（ネギ、キャベツ等）
- 東成瀬村 地域資源（トマト、山菜等）を活かした6次産業化の推進

⑤基盤整備計画の策定

- ・水田を畑地化し高収益作物を栽培するための基盤整備計画を策定（20地域）

（2）中山間水田畑地化整備事業

[成果]

①畑地化整備面積 等

- ・H27からR3までの7年間で、20地域において98.8haの畑地化整備を実施。（事業費計約13億円）
- ・主な整備内容は、区画拡大、耕土搬入、暗渠排水となっている。

②高収益作物の作付（品目・面積）

- ・令和2年度までの作付実績
高収益作物面積：50ha
主な高収益作物：ネギ、リンドウ、大根、アスパラ、サトイモ、食用ほおずき、エダマメ

（3）中山間資源を活かす生産体制整備事業

●元気な中山間農業応援事業を活用した地域特産物等の生産拡大効果

（H27～R2の6カ年分／227事業主体の成果）

- ・全体で販売額は14億円から17.7億円に増加（3.7億円／126%の増加）

■地域別の概要

[鹿 角] 販売金額 19,970千円→52,974千円 (265%)

鹿角市……肉用牛（繁殖雌牛の導入（短角）10頭）
精肉加工設備の導入
小坂町……ブドウ（棚設置（170a）、ワイン製造（17,000本））
ソバ（乾燥調整施設一式・コンバイン1台）
ナタネ（コンバイン1台）
ジャガイモ（管理機等・施設一式）

[北秋田] 販売金額 7,495千円→5,364千円 (▲28%)

北秋田市……セリ（揚水ポンプ導入）
上小阿仁村……りんどう（新植（10a））
ほおずき（パイプハウス（1棟））

[山 本] 販売金額 62,026千円→88,166千円 (142%)

八峰町……ねぎ（移植機2台、皮はぎ機2台、コンプレッサー一式、パイプハウス（2棟））
りんどう（新植（9a））
水稻再編（トラクター1台、コンバイン1台）

[秋 田] 販売金額 106,486千円→140,300千円 (132%)

秋田市……肉用牛（繁殖雌牛の導入（黒毛）5頭、牛舎1棟、堆肥舎1棟、ホイールローダ1台）
自給飼料（ロールベアラー1台、テッダー1台、ディクモア1台、WC S収穫機1台）
五城目町……肉用牛（繁殖雌牛の導入（黒毛）1頭）
自給飼料（ロールベアラー1台）
エダマメ（収穫機2台、選別機1台、皮むき機1台等）
ダイズ（防除機1台、コンベア一式）
ハウレンソウ（パイプハウス1棟）
カボチャ（畝成形機、パイプハウス1棟）

[由 利] 販売金額 937,748千円→1,047,086千円 (111%)

由利本荘市……肉用牛（繁殖雌牛の導入（黒毛）41頭、牛舎5棟、堆肥舎1棟）
自給飼料（ロールベアラー12台、ディクモア6台、ラッピングマシーン4台他）
アスパラガス（新植3a、選別機1台、防除機2台）
たまねぎ（ロータリー1台、シーダー1台、乾燥機1台、マルチャー1台）
にんにく（ロータリーカッター1台、ハーベスタ1台、管理機1台等）
リンドウ（新植10a）
ブドウ（新植100a、ブドウ棚、防除機1台、簡易冷蔵庫1台等）
オウトウ（新植2a）
菌床しいたけ（パイプハウス一式（1棟））
リーフレタス（水耕栽培設備一式）
原木しいたけ加工（防風ネット、散水設備、樹木粉碎機）
干しいも（低温冷蔵庫1台）
ソバ（コンバイン3台）
水稻再編（田植機1台、防除機1台、コンバイン3台、自動計量選別機1台）

にかほ市……肉用牛（繁殖用雌牛の導入（黒毛）1頭）
アスパラガス（新植10a、灌水設備、給水設備、低温冷蔵庫等）
ダイズ（コンバイン1台、ハイクリブーム1台、乗用管理機1台等）
ソバ（コンバイン3台、乾燥機1台等）
水稻再編（コンバイン1台、自動計量選別機）

[仙 北] 販売金額 198,193千円→253,889千円 (128%)

大仙市…… 肉用牛（繁殖雌牛の導入（黒毛）3頭）
飼料作物（ディスクモア1台、ラッピングマシン1台等）
アスパラガス（新植10a）
トマト（ハウス雪冷房施設1式）
キク（パイプハウス1棟）
小ギク（パイプハウス2棟、暖房機1式）
ニンニク（ブームスプレイヤー1台、マニユアスプレッダ1台等）
イチゴ（軽量鉄骨ハウス1棟、パイプハウス2棟）
ダイコン（収穫機1台、カッター1台等）
エダマメ（洗浄機1台、脱水機1台等）
ダイズ（コンバイン1台、色彩選別機1台、播種機1台等）
ソバ（コンバイン1台、乾燥機1台、粗選機1台等）
水稲再編（田植機1台）

仙北市…… アスパラガス（新植33a、パイプハウス3棟、防除機1台、灌水資材一式等）
ネギ（乗用管理機1台、マルチスプレーヤー1台、移植機2台、洗浄機一式等）
ハウレンソウ（パイプハウス1棟）
ニンニク（乾燥機1台、管理機1台、選別機1台等）
エダマメ（播種機、ラジコン動噴等）
リンドウ（新植35a、灌水設備等）
ダリア（電照機一式、管理機1台、乾燥機1台等）

[雄 勝] 販売金額 63,755千円→183,486千円 (288%)

東成瀬村…… 肉用牛（繁殖雌牛の導入（黒毛）5頭（短角）30頭）
自給飼料（フロントローダー1台、ロールベアラー1台等）
飼料用米（トラクター1台、コンバイン1台）
アスパラガス（新植10a）
ネギ（パイプハウス1棟、出荷調製設備一式）
トマト（パイプハウス8棟、管理機1台、点滴灌水システム一式等）
リンドウ（新植84a、支柱・ネット一式、管理機1台）
エダマメ（管理機2台）
カボチャ（パイプハウス3棟）
小玉スイカ（パイプハウス1棟）
菌床しいたけ（ハウス内LED化）
ウルイ（灌水施設一式）
加工用ダイコン（洗浄機1台、加工所改修）
加工（成分分析、ラベル作成等）
水稲再編（田植機1台、自動計量機1台）

元気な中山間農業応援事業 成果表②

市町村	八峰町	地域名	八森地域	地域区分	山間地域 ・ 中間地域	その他
プランテーマ	中山間部の畑地化を契機とした地域農業の創生					
地域の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○小区画で狭小なほ場で、作業道も未整備、典型的な条件不利地域 ○担い手の高齢化・後継者不足が進み、年々、自己保全農地等が増加 ○地域農業の担い手として、平成26年に「農事組合法人真瀬ファーム」を設立 ○水稻を主体に、複合作物として新たにネギ、リンドウ等の品目を導入 					



プランの概要					
策定年度	平成26年度（事業実施：27～29年度）				
目的	水田の畑地化（区画整理、土壌改良、暗渠の設置）を進めるとともに、新たな作目としてネギ等を導入し、収益向上を目指す。				
事業主体	株式会社真瀬ファーム 代表取締役 工藤 雅樹				
事業項目	水田の畑地化	生産体制強化	水稻生産体制再編	6次産業化	特産品づくり
事業内容	土壌改良、区画拡大 (A=5.1ha)	パイプハウスの導入 作業機械の導入	—	—	オリジナルパッケージの作成
事業費 (補助金)	152,344千円 (補助金146,391千円)				
成果	従前 (H26)		実施後 (H27)		%
	受益エリア内 水稻 1.82ha		長ネギ：1.62ha リンドウ：0.13ha		—
	農作物販売額 1,890千円		農作物販売額 10,225千円		541



整備されたほ場に作付されるネギ



新規作目の導入で新たな雇用を創出

元気な中山間農業応援事業 成果表⑥

市町村	仙北市	地域名	中川、白岩、生保内、西明寺、桧木内	地域区分	山間・中間地域
プランテーマ	新たな転作作物「ニンニク」の導入と産地の形成				
地域の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○平地が少なく、ほ場の小区画で分散しており、大規模な規模拡大が困難。 ○農業従事者の高齢化が進み、担い手不足が深刻。 ○新たな品目として、「ニンニク」を位置づけの作付けを開始。 ○新規栽培者を募るとともに、年々作付面積が増加している。 ○数年後を目処に、種苗生産から本格生産への移行を目指す。 				



プランの概要					
策定年度	平成27年度（実施年度：平成27，28年度）				
目的	新たな転作作物として「ニンニク」の産地形成を図る				
事業主体	個人農家8戸				
事業項目	水田の畑地化	生産体制強化	水稻生産体制再編	6次産業化	特産品づくり
事業内容	—	収穫機、作業舎、管理機、選別機、収納ハウス等	—	—	—
事業費（補助金）	30,766千円（補助金14,330千円）				
成果	従前（H27）	➔		実施後（H30）	%
	栽培面積 0a			栽培面積 331a	—
	農作物販売額 0千円			農作物販売額 3,295千円	—



山間にひろがるニンニク生産ほ場



収穫間際の状況

元気な中山間農業応援事業 成果表⑦

市町村	仙北市	地域名	西明寺・中川・雲沢・生保内・桧木内	地域区分	山間・中間地域
プランテーマ	冷涼な気候を活かした花き産地の形成				
地域の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○山間または中間地域に該当する仙北市のエリア。 ○いずれの地区の地域資源活用プランにも、新たな品目として「リンドウ」が位置づけられ、花き産地の形成が図られている。 ○1戸あたりの平均栽培面積は33aで比較的小規模であるが、10a当たりの販売額は約1,300千円と高く、年々栽培面積が拡大している。 				



プランの概要					
策定年度	平成27年度（実施年度平成27、28年度）				
目的	水稻に代わる新たな複合品目として「リンドウ」を位置づけ、高収益型の花き産地の形成を図る				
事業主体	個人農家9戸、農業法人2法人の11経営体				
事業項目	水田の畑地化	生産体制強化	水稻生産体制再編	6次産業化	特産品づくり
事業内容	—	リンドウ新植、支柱ネット管理機、防除機等	—	—	—
事業費（補助金）	19,964千円（補助金9,308千円）				
成果	従前（H27）		実施後（H30）		%
	栽培面積 227a		栽培面積 367a		162
	農作物販売額 15,897千円		農作物販売額 47,499千円		299



山裾に広がるリンドウ産地



日中と夜間の寒暖差が高品質な花き生産に不可欠

元気な中山間農業応援事業 成果表⑧

市町村	東成瀬村	地域名	東成瀬	地域区分	山間地域 ・ 中間地域 ・ その他
プランテーマ	地域資源を生かした新たな特産品づくりへの挑戦				
地域の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○零細なほ場が多い山間地域で、標高も高く冷涼な気候 ○宮城県と接し栗駒山国定公園の秋田県側の玄関口となっている。 ○水稻を主体に、野菜、花き、肉用牛（短角牛）への取組が拡大中。 ○近年は、トマトや平良カブ（大根）等の農産物を活用した加工品づくりも盛ん ○担い手の高齢化が進んでおり、担い手不足が課題 				



プランの概要					
策定年度	平成26年度（事業実施：27～29年度）				
目的	平成24年に12月に設立した新たな農業参入企業として、水耕栽培（サニーレタス、サンチュ）を始め、更なる収益確保のため、大根の生産・加工、並びに販売で収益向上を目指す				
事業主体	なるせ農園株式会社 代表取締役社長 谷藤宏幸				
事業項目	水田の畑地化	生産体制強化	水稻生産体制再編	6次産業化	特産品づくり
事業内容	—	—	—	肥料散布機、ブロードキャスター、運搬機、収穫機、コンテナ、加工所1棟、成分分析、ラベル作成等	—
事業費（補助金）	10,574千円（補助金：4,894千円）				
成果	従前（H26）		実施後（H30）		%
	大根作付面積 20a		大根作付面積 350a		1750
	農作物等加工品販売額 350千円		農作物等加工品販売額 15,000千円		4200



整備された加工所（いぶり施設）

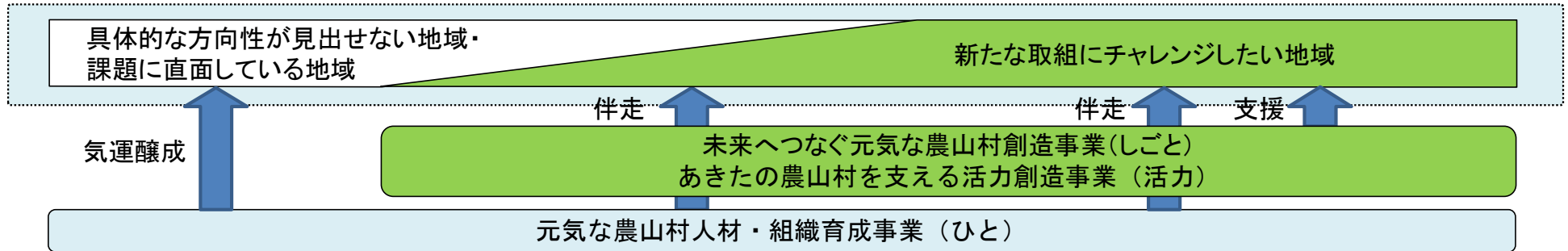


新たに商品化された仙人の里「いぶりがっこ」

6. 農山村振興の新たな展開方向の全体像(しごと・活力・ひと)

- 農山村の活性化に向けて、新たな取組にチャレンジしたい地域を支援する事業を、「しごと」・「活力」の両面から総合的に展開。
- 併せて、具体的な方向性が見出せない地域や課題に直面している地域も含め、あらゆる地域をカバーした「ひと」づくり（人材育成）により、新たな取組にチャレンジしたい地域のステップアップと裾野の拡大を支援。

(事業の関係性)



■ (新) 未来へつなぐ元気な農山村創造事業 (しごと)

(プラン実現に取り組む組織)

協議会

- ・ 農林漁業者
- ・ 加工業者
- ・ 小売業者
- ・ 飲食業者
- ・ 観光業者
- ・ 地域の有志
- ・ 関係人口

元気な農山村創造プラン策定事業

- ・ 地域資源を活用した「しごと」を軸とした総合的な地域づくりに関する将来ビジョンを策定

農山村発新ビジネス創出事業

- ・ キラリと光る地域特産物の創出
- ・ 「地域資源」×「他分野」の組み合わせによる新ビジネスの創出

(関連事業)・夢ある園芸産地創造事業(中山間拠点)

※元気な農山村創造プランに位置付けた場合、ポイント加算

■ (新) あきたの農山村を支える活力創造事業 (活力)

あきた田園ライフ推進事業

- ・ 多様なライフスタイルの推進等を通じた関係人口の拡大と深化
 - 「半農半X」など新たな兼業スタイルの促進
 - 農泊ビジネスへの起業支援

魅力ある秋田の里づくり推進事業

- ・ 地域資源を生かした地域交流活動の推進
 - 食や伝統文化、棚田などの地域資源を生かした交流活動
 - 里地里山の魅力・情報発信、プロモーションの実施

※元気な農山村創造プランに事業を位置付けた場合、インセンティブ付与を検討

【目指す姿】

■ (新) 元気な農山村人材・組織育成事業 (ひと)

※地域づくりをサポートする中間支援機能のあり方について今後検討

農村振興基礎研修

- ・ 地域づくり先進事例、伴走支援等に関する研修 (対象：県、市町村、関係機関)

地域のサポート人材・組織育成研修

- ・ 新たなビジネスの企画・立案や人材の呼び込み、地域振興協議会の設立運営等に関する研修
 - 地域づくりのワクワク感を育みつつ、基本的な知識を習得する入門編 (対象：地域づくりに興味や意欲のある者)
 - プラン策定や実行を伴走支援する実践編 (対象：「新たな取組にチャレンジしたい地域」(プラン策定地域等))
 - 研修参加者の中から、県内他地域に助言する「サポート人材」を発掘し養成



農山村発新ビジネス創出事業における支援イメージ

事業	これまで(元気な中山間農業応援事業)
趣旨・目的	特色ある中山間地域農業の展開を図るため個々の農業者へ支援
内容	①農産物の生産体制の強化に必要な機械整備 など ②6次産業化に必要な機械整備 など
対象地域	中山間地域等
事業主体	地域資源活用推進協議会の参画者【農業者主体】
補助率	1/2支援+(市町村協調助成1/12)



農山村発新ビジネス創出事業	
地域内に利益が還元される農山村発の新ビジネスの創出、地域の活力創造に総合的に取り組む中山間地域を面的に支援	
①競争が少ない地域特産物など、新たな「仕事」や「価値」を生み出すキラリと光る品目の創出に必要な機械整備 など (単純な系統出荷、市場出荷は対象外) ②地域にある農山村資源と観光や福祉等の他分野との組み合わせによる六次産業化に限らない新たなビジネスの創出に必要な機械整備 など	
中山間地域等	
協議会、協議会の参画者【農業者に加え多様な人材】	
1/2支援+(市町村協調助成1/12) ※補助金上限2,500千円、2年間【一定規模の販売額(3,000万円以上)を目指す場合は別事業(1/2支援)を活用】	
※①又は②のみの取組、①及び②の取組のいずれも可	

■キラリ品目について

項目	品目例	支援の対象例
作物系	〇〇野菜(西洋野菜、京野菜、鎌倉野菜のようなイメージ)、伝統野菜、イチジク、夏いちご、食用ほおずき、そば、せり、ワサビ、ハーブ、きくらげ、中国野菜、アイスプラント、じゅんさい	試作資材、専用パイプハウス、暖房機、専用作業機械 等
畜産系	めん羊、ダチョウ、烏骨鶏、シャボン、レンタル用ヤギ、養蜂・養蚕	初期導入、飼育場整備、孵卵器、暖房機 等
森林系	杉苗、山菜、天然キノコ、山野草、葉物、竹林、カブトムシ、オオクワガタ	野山整備用の草刈り機、プロワー、飼育器、温熱器 等
魚系	イワナ、ヤマメ、テナガエビ、どじょう、うなぎ、ワカサギ、観賞魚	揚水ポンプ、飼育池整備、専用水槽 等

■新ビジネスについて

ビジネス例			支援の対象例
農山村資源	× 観光宿泊	= 農家民宿 農家レストラン 観光農園	・新規開業のための施設整備、リモートワークに対応した情報環境の整備 ・旅行商品、体験・飲食メニューの開発、マーケティング調査、販促活動
農山村資源	× 食品加工 飲食小売	= 新商品開発	・加工用機械・販売施設の整備 ・商工業者と連携した商品開発、マーケティング調査、販促活動 ・ECサイトの開設
農山村資源	× 福祉	= 体験農園	・障害者に配慮した生産施設、農園、休憩所等の整備 ・種子、肥料、農業用資材
農山村資源	× 発電	= 再エネビジネス	・生産施設、集会施設への発電施設整備(マイクロ水力、営農型太陽光)

あらゆる地域が活性化活動に挑戦したくなる秋田へ

(令和4年度からの新たな「人材育成研修」)

農山村振興課

- 地域活性化活動に飛び込む者の裾野拡大を図るとともに、自治体職員等支える側のスキルアップも担う「入門編」
- 課題や悩みに寄り添いながら、地域の新たなプロジェクトに伴走支援する「実践編」
- 「同じ志を持つ者同士のネットワークづくり」が進み、研修の場が「人をつなぐ場」に！

入門編

目標

- ・地域づくりのワクワク感の醸成
- ・実践に向けたプロセスの習得
- ・問題意識の共有、指導・助言力の向上(関係機関)

対象

実践編の参加者も入門編に参加

150人程度を想定

- ・地域づくりに意欲のある者(学生含)
 - ・課題に直面している地域の者
 - ・具体的な方向性が見いだせない地域の者 等
- +
- 関係機関の職員

内容(案)

秋田市でのリアル開催+県内2か所でのオンライン開催

- 第1回【令和のプレイヤー編】
 - ・基調講演 価値創造型の地域づくり
 - ・県内事例紹介 新ビジネス実践中の地域、半農半X地域
- 第2回【昭和のプレイヤー編】
 - ・基調講演 地域が動き出す仕組み ~計画から実践へ~
 - ・県内事例紹介 地域資源、販売戦略、後継者問題等
- 第3回【総括編】
 - ・基調講演 ①農村政策の総論的な講義
 - ②地域に飛び込む若者達の想い

研修をネットワークづくりの場に!
(参加者同士や講師との交流・意見交換)

パネルディスカッションによる意見交換を実施

実践編

目標

- ・地域資源の掘り起こしや新たなビジネスの企画立案
- ・具体的な活動につながるプランの策定
- ・他地域へアドバイスできるサポート人材の発掘

対象

20人程度・6回程度を想定

- ・取組にチャレンジ中の地域の者
 - ・チャレンジに向けて踏み出したい地域の者 等
- ※関係職員も含め、同一地域から複数名(2~3名)の参加を推奨

実践研修

【研修カリキュラムは委託事業者と調整中】

- ・座学(県及び国の地域づくり施策含む)
- ・グループディスカッション
- ・プラン策定の実例演習 等

研修後のイメージ

- ・ビジネス創出や地域活性化の新たな取組を主導(リーダー)
- ・地域内外の人材をつなぎ新たなネットワークを生み出す(ハブ)
- ・他の地域へアドバイスし支える(サポート)

7. あきたの農山村を支える活力創造事業の令和4年度実施内容について

<事業目的>

地域の食や伝統文化、里地里山や水辺環境などの地域特性を生かした都市との交流活動や、伝統野菜などの地域農産物の生産及び加工・販売までの6次産業化などの農村資源を生かした取組や新しい兼業スタイル(半農半X)、農家民宿や農家レストランなどといった農泊等の多様なライフスタイルの実現に向けた体制づくり等、地域住民が主体となった取組を支援することにより、農地の維持及び中山間地域の活性化を図り、農山村を支える地域の活力を創出する。

1 魅力ある里づくりモデル事業(旧魅力ある秋田の里づくり総合支援事業)

中山間地ならではの地域資源を生かした「魅力ある里づくり」のモデル地域を育成するため、計画策定から拠点整備、実践活動までを総合的に支援する。

<令和4年度の計画> 事業費 7,280,000円

- ・令和3年度までに採択した6地域について、引き続き、地域資源を生かした各種取組を支援することで、地域活性化を図る。
- ・拠点整備事業 1,000千円×1地域、800千円×1地域
- ・活動支援事業 1,000千円×5地域、480千円×1地域

2 地域づくり活動支援事業(旧魅力ある秋田の里づくり総合支援事業)

交流活動や体験教育活動等を通して地域の活性化を図る取組を行う団体を募集し、支援する。

<令和4年度の計画> 事業費 2,900,000円

- ・令和3年度採択の2団体について2年目の支援を行うほか、新たに取組を行う団体を募集し、9団体を新たに支援する。

3 里地里山保全活動支援事業

①「守りたい秋田の里地里山50」推進事業

県が取り組んでいる「守りたい秋田の里地里山50」地域の募集や認定された地域をはじめとする里地里山の保全・継承に向け、その役割や魅力を広くPRするプロモーション活動やパンフレット作成等を実施する。

<令和4年度の計画> 事業費 3,097,000円

- ・プロモーション活動(種苗交換会、各種イベント等)
- ・フォトコンテスト(あきたの美しく豊かな農村づくり写真コンクール)
- ・認定地域の魅力等のPR(情報発信推進員による取材内容の発信等)

②里地里山のサポート活動支援事業

認定地域において、県内外の企業や大学等を対象に里地里山サポーターを募集し、地域とサポーターが協働で行う保全・交流活動等に対して支援する。

<令和4年度の計画> 事業費 4,000,000円

- ・新たな協働活動実践地域の1地域を含む8地域を支援する計画である。

【新規地域：草木谷地域(潟上市)】

③里地里山の営農継承事業

認定地域において、耕作放棄を防止し、里地里山の保全・継承を支援するため、新たな農地の借受者に対し、借受のインセンティブとなるよう、賃借料相当の助成金を交付する。

ア 助成対象 農地中間管理機構等から新たに農地を借り受ける農業者

イ 補助率 実賃料額（借受初年目は10千円/10aを上限、2～3年目：初年度交付単価の半額）

＜令和4年度の計画＞ 事業費 200,000円

・3.4ha（2地域）

4 里づくり推進事業（旧魅力ある秋田の里づくり総合支援事業）

事業に関する啓発普及など事業推進に必要となる取組を行う。

＜令和4年度の計画＞ 事業費 3,263,000円

・小学生向け学習パンフレットの作成・配付

・農福連携研修会の実施

・指導者の育成 など

5 いいね！Akita農泊推進事業

新型コロナウイルス感染症の拡大により、多様化した旅行者ニーズに対応した農泊の取組を推進する。

＜令和4年度計画＞ 事業費1,280千円

・仙北市・大館市・藤里町の農泊地域が広域連携し、PR等の誘客活動を実施。